

結論。

◇令和2年度福生市一般会計補正予算(第9号)

(総務文教委員会所管)

問 小学校ICT推進事業、中学校ICT推進事業で備品購入するウェブカメラ、スタンドの使用目的は。

答 学校の臨時休業等の緊急時においても、子どもの学びを保障できるよう、双方で学校と児童生徒と円滑にやりとりを行うため学校側で教師が使用するカメラやマイク、スタンド等、遠隔学習に対応した設備を整備する。

問 扶桑会館管理事務、市民会館管理運営事業、地域体育館管理運営事業で指定管理者の休業等補償金の積算根拠は。

答 いずれの施設も令和2年4月から9月までの期間を対象とし、各指定管理者からの申出に基づき、料金収入の減収分と指定管理委託料として委託した業務の一部が実施できなかったことによる未執行の分の差等を補償する。



▲福生市商工会が指定管理者として管理する扶桑会館

問 災害対策事業で国土強靱化地域計画と地域防災計画との整合性、策定・推進の所管等については。

答 国土強靱化地域計画は、国の考え方に基づき、福生市をさらに強靱な都市とするため、あらゆるリスクを見据え、最悪の事態に陥ることを避けるよう強靱な行政機能や地域社会、地域経済を事前につくり上げていこうとするもの。策定後は、必ずやに際して、両計画の整合性を図っていく。計画策定・推進については安全安心まちづくり課が中心となり総務部、企画財政部、都市建設部など関連部署との連携が不可欠である。

問 文書事務の歳出補正249万2千円の内容は。

答 現行の文書管理システムの導入から11年が経過し、新システムへの更新に係る業務(システム構築、操作研修等)の委託業者をプロポーザル方式で決定したことによる委託料の減額。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

特別委員会活動から：

横田基地対策特別委員会

12月9日に委員会が開催され、1件の議題について審査しました。

1 横田基地に関する情報等について

9月17日から12月8日までの報告がありました。主な内容は、次のとおりです。

- ①5月30日頃から10月頃までの予定で横田基地に一時展開していた米空軍グロバルホークについて、9月28日までに6機全機がグアムに帰投した。
- ②10月6日に、今年度3回目となる横田基地関係者による飲酒を伴う交通事故が発生した。

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から米軍及び国に対して、再発防止策を早急に講じること、基地全体で綱紀粛正を図ること等を要請した。

③10月21日から30日の間、サムライ即応監視

という、有事における即応態勢の維持強化の演習が行われた(21日から25日は図上訓練)。演習期間中、市民から航空機騒音に関する苦情が2件、PAS(サイレンや広報のための大音響の出るスピーカ

1)に関する苦情が2件、PASについての問合せが4件あった。

④11月19日に、青梅市にある処分場に運ばれた横田基地内の飛行場及び駐機場のインフラ計画による工事の掘削作業で発生した土から未使用の50口径(12.7ミリメートル)の弾1発が発見された。弾は11月20日に横田基地が回収した。

⑤横田基地の新型コロナウイルス感染者の発生については、防衛省北関東防衛局から情報提供を受けている。横田基地における感染者数は、12月8日現在、21名である。なお、6月16日以降に情報提供のあった感染者数を合計すると、125名となる。また、駐留軍等労働者(国に雇用されて基地内で働く従業員)の方については、12月8日現在、7人の感染が確認されている。



▲横田基地対策特別委員会の様子

議会改革に関する協議会から ~新たな取り組み~

一般質問において

「質問回数制限なし」を試行実施

福生市議会では、傍聴者や市民の皆様等に分かりやすく、より明確な一般質問とするため、一般質問の一問一答方式及び併用方式の質問方法を選択した場合、通告時間内であれば何回でも質問できることを試行的に実施いたします。

これにより、質問及び答弁のやりとりは、必要に応じ複数回に分けて質問され、不明確な部分があれば今までの質問回数を超えて再度確認できるようになるなど、より分かりやすくなることを想定しています。

今後、試行実施の内容を検証し、質問回数制限の有無等について方向性を決定していきます。

Facebook



Twitter



SNSで議会の情報を発信しています!

今後も、より良い福生市議会を目指し、全議員で議会改革に関する様々な事項について協議していきます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る福生市議会の対応

医療現場をはじめ、新型コロナウイルス感染症の対策にご尽力いただいている皆様に、心から感謝申し上げます。

令和2年第4回定例会は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、次のとおり開催しました。

一般質問を「文書質問」で行い、日程を短縮しました

- ・新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮し、一般質問を「文書質問」の方式で行い、本会議の日程を短縮しました(5日間→2日間)
- 各議員の質問に対する市長等の答弁(回答)を会議録の速報版として福生市ホームページに掲載しています



←一般質問会議録速報版(市HP)

感染症予防策を講じました

- ・各階に消毒液を設置しました
- ・職員の出席を最小限にとどめました
- ・発言中も原則としてマスクを着用することとしました
- ・議場及び委員会室の窓や出入口を開放し換気に努めました

対策を徹底し、傍聴される方へご協力をお願いしました

- ・マスク着用、手指消毒にご協力をいただきました
- ・傍聴受付時の体調確認及び非接触型体温計による検温にご協力をいただきました
- ・傍聴席の間隔を空けるため、議場の一般傍聴席を15席に削減しました(通常は46席)
- ・傍聴席及び筆記具等の消毒を行いました
- ・インターネット中継及び多摩ケーブルネットワークの放映をご活用いただくようご案内しました

編集後記

12月に令和2年第4回定例会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらないことから、本定例会では一般質問を「文書質問」という形式とし、12月1日、4日の4日間を1日に短縮しました。一般質問は市議会にとって非常に大切な位置付けであります。が、「コロナ禍の現状を踏まえれば、時間短縮などで市に協力していきたい」という思いから市議会としては苦渋の決断でこの形に決めました。本定例会では一般会計補正予算(第9号)が審議されました。本年度は新型コロナウイルス感染症対策の関係で様々な事業が中止となり、減額補正の案件が複数並びました。市議会としては行政視察に関する予算の全てを減額することが本議案の中で決定しました。11月に市制施行50周年記念事業として行われた講演会で、講師の池上彰氏は「人間というのは社会の中でしか生きられない。こういう時だからこそ、社会の絆を大切にしなければならぬ」と仰っていました。市議会としても、社会を支えている市及び市民の皆様との絆を大切にしながら協力していきます。